

特集 ケアマネジメントのこれから

慢性期医療とケアマネジメント	池端幸彦
ケアマネジメントと障害者福祉	竹端 寛
地域における歯科連携とケアマネジメント	初山昌平
熊本地震における介護支援専門員の活動とケアマネジメント	土屋政伸

※都合により誌面が変更される場合がございます。

●編集名誉顧問

大田仁史 澤村誠志
米満弘之

●編集顧問

石川 誠 浜村明徳

●編集委員

栗原正紀(編集委員長)
伊藤隆夫 佐藤浩二
西脇恵子 渡邊慎一

●編集同人

浅海奈津美	有賀 徹
伊佐地隆	石松隆和
伊藤貴子	岩崎千佳
上菌紗映	生方克之
逢坂伸子	大越 満
太田秀樹	大武美保子
岡田しげひこ	乙坂佳代
加来克幸	寛 淳夫
加藤武彦	金子 寿
川越雅弘	木下康仁
桑山浩明	小林直樹
齋藤正洋	榊原次郎
座小田孝安	佐藤久夫
鈴木孝治	武原光志
玉垣 努	角町正勝
土井勝幸	野尻晋一
橋本美芽	長谷川幹
畑野栄治	半田理恵子
東川悦子	備酒伸彦
廣末ゆか	福田俊江
古屋 聡	丸山 泉
水間正澄	宮崎宏興
宮田昌司	村井千賀
村上重紀	森岡悦子
柳 尚夫	山川百合子
若林秀隆	

●査読委員

稲川利光	梅津祐一
金城利雄	阪井康友
澤 俊二	野崎園子
備酒伸彦	松坂誠應
水間正澄	

●編集後記

1992年、私が長崎市内の老舗救急病院の2代目脳神経外科部長として着任した当時、脳神経外科で手術ができる病院は市内では大学病院とその病院のみであったため、多くの脳卒中や頭部外傷患者が搬送されてきていた。しかし、当時の市内の救急医療体制には、種々の課題が存在していた。例えば、急性心筋梗塞で倒れると「運が良ければ県外の某大学病院からドクターカーが迎えに来る。金があれば県外の有名な某病院に紹介される。運も、金もなければあの世にいける！」なんてことがささやかれていたものである。だから脳神経外科医として看護師たちとともに、「頭の救急患者は絶対に断らない」という意気込みで頑張った。

しかし、救急医療の宿命でもあるが、助かって元気になって喜んで退院される患者さんの陰には、命は助かったが意識が戻らない患者や、どうしても助けることができなかった若者などもおり、無力感・絶望感に打ちのめされることも多々であった。中には「命だけでもいいから助けてください!」と言っていた家族から、意識障害が残存したこともあり、「助けてもらわなければよかった!」と言われたこともある。「いったい何のために頑張っているのか? このままでいいのか?」といった、単に命を助けるという使命感だけでは救われない気分で落ち込んだこともある。

その時、救われたのが「地域リハ」[1991年日本リハビリテーション病院協会(当時の名称)]の考え方との出会いであった。いわく、『地域リハとは、障害を持つ人々や老人が住み慣れたところで、そこに住む人々とともに、一生安全に生き生きとした生活が送れるよう、医療や保険、福祉及び生活にかかわるあらゆる人々がリハビリテーションの立場から行う活動のすべてのこと』とあった。これを知った時、悩みの闇の中から光明を見つけた思いであった。「そうだ、自分はこの“地域リハ”の範疇で救急医療に従事しているのだ!」という共感であった。命を助けるだけではなく、その後の障害でもしっかりと視野に入れた救急医療を実践していくことが重要なのだ! という確固たる医療観が得られたという実感であった。それからというもの、看護師やPTとともに、どんなに重度の人でも起こすことを大切にし、早期からリハを開始することにした。

今や地域リハは「救急から在宅支援に至るまで適時・適切なリハが展開され、全てのライフサイクル、あらゆる障害をも包み込むインクルーシブ社会の創生」を目標として進化しつつある。

編集委員 栗原正紀

第12巻第4号[通巻133号] 2017年4月15日発行(毎月1回15日発行)

地域リハビリテーション 4月号

1部定価(本体1,800円+税)
2017年年間予約購読料(12冊) 21,600円+税(送料弊社負担)

発行 | 株式会社三輪書店 代表者: 青山 智
(担当: 大島・木次谷)
〒113-0033 東京都文京区本郷6-17-9 本郷綱ビル
Tel 03-3816-7796 / Fax 03-3816-7756
URL <http://www.miwapubl.com>
郵便振替 00180-0-255208

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, ©2017, Printed in Japan

表紙・本文デザイン | 白井弘志(公和図書デザイン室)
印刷 | 三報社印刷(株) Tel 03-3637-0005
広告 | (株)メディカルブレーン Tel 03-3814-5980

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

【JCOPY】(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。